

# 石川町文化協会だより

第70号

石川町文化協会  
石川町関根165  
石川町公民館内  
☎0247-26-2566  
発行責任者：鈴木 茂

## 文化協会研修旅行

### 茨城の魅力発見～常磐もの応援の旅



記念館前には野口雨情の像

器から具がはみ出すほどの美味しい海鮮井とあさりの味噌汁の昼食にみなさ

令和5年11月11日土曜日、風のビュービュー吹く朝8時。モトガッコ駐車場から、大型バスに37人が乗車し、一路いわき方面に出発した。まず、茨城県岡倉天心記念五浦美術館へ。常設展のほか 間島秀徳特設展「天地無常」が開催されていて、目に触れることができた。宇宙・海・空。その絵画の大きさや色彩に圧倒され、訴えるものが大きく吸い込まれそうな作品の数々であった。次に野口雨情記念館。シャボン玉・七つの子・青い眼の人形などを作詞した雨情。童謡にたっぷり浸ってきた。那珂湊おさかな市場でのお楽しみ。おさかな市場は常磐もの「を買って応援しようとする人ではない」といふ。海洋への処理水放出、風評被害に負けないで！と私たちも魚のお土産をたくさん買い込んだ。



岡倉天心記念五浦美術館で記念撮影

ん、満足気であった。さらに、帰りには、長砂直売所に寄り、紅はるかの干し芋をたっぷり買った。氷もたっぷり入れての常磐もの魚と、つやの良い干し芋が帰りのバスに揺られ、18時モトガッコに到着。コロナが明けて、久々に会う方が多く楽しく交流をし、また、帰りのバスの中は商品付きのゲームで盛り上がり、有意義な研修旅行であった。文化協会会員の皆様、会員外の皆様、来年度もぜひご参加ください。

#### 研修旅行に参加して

芳泉流舞芳の会 鈴木ミエ子

令和5年度、石川町文化協会研修旅行は、常磐もの応援の旅」として茨城の魅力発見となりました。

モトガッコを出発し、最初に岡倉天心美術館を見て、次に野口雨情記念館へ行きました。天心美術館では、特設展も開催されていて、すばらしい絵画のスケールの大きさに圧倒されました。

雨情記念館では、やさしい童謡のメモデイに、なつかしく心が癒され楽しい研修となりました。帰りのバス車中では、ゲーム係りとして皆さんに笑って楽しんでいただけのように頑張りました。

4年ぶりの研修旅行、いろいろな方とお話しをしたり、笑ったり有意義な一日となりました。

来年度も、みなさんと一緒に文化協会の事業に参加したいと思います。

そして、石川町の文化の輪が広がって行くことを願っています。



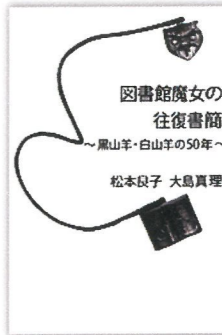
♪ あかいくつ はいてた～♪

## 読んでみませんか、この一冊

47

### 「図書館魔女の往復書簡」

黒山羊・白山羊の五十年



作 松本良子 (黒山羊)  
大島真理 (白山羊)  
推薦者 渡邊 貞子

町の図書館の新刊コーナーで、題名にひかれて手に取った一冊である。元東北福祉大学准教授(図書館学)でエッセイストの大島真理と、ひよんなことから一九八八年より香港に移住した松本良子の往復書簡のようなエッセイだ。「時間も場所も越えた脈絡のない場所でのエピソード、松本良子さんとの思い出を手繰っている、言葉に出さなくてもお互いが醸成した時間の至福を感じる。」と書いてあったように、二人の交流が時間のミルフィーユのように積み重なって、その時々を一緒に共有させてもらっている感覚に陥る。二人の出会い、英会話学校で同じクラスだったことで、大島さんから声をかけて始まり、生涯の友となっていた。引つ込み思案だった大島さんが、数か月の英会話教室が終了する間際に、自ら誘ったことを自分でも驚いていたが、何か感じるものがあつたのであろう。おかげで、松本さんが病で亡くなるまで離れていても、友として続いたのである。生涯この人と思える人に出会えることがどれだけ人生を豊かにしてくれるか。時も物も人も含めて、自分も「今を大事にしたい。」と読後に思わせてくれる一冊である。

## 石川小学校へ81年前の伝説のピアノ



昭和十七年十一月三日明治節ノ佳辰ノトシ  
坂路石井武司寄贈ノピアノ披露音楽會ヲ開催  
セリ (中一小 沿革史に記録があります。)

81年前に、中谷第一小学校に展示されていた郡内最古のピアノが、石川小学校へ運ばれて来ました。昭和17年に、地区の方より寄贈され、戦火の中、校庭も食糧確保のための畑だった時代に、大勢の子供たちを笑顔にし、心を癒し続けたピアノです。歴史の中に生き続け、もう音の出なくなったこのピアノを再生しようと、石川小学校、町役場、中谷自治センター、メンズクラブ、もちろん、調律師さんも奮闘し蘇えさせることができました。

再び石川小学校で、また、子どもたちを楽しませていくことでしよう。皆様、どうぞ、誇らしげに輝いているピアノを石川小学校でござらんださい。現在、81年ぶりの「音楽會」を計画中とのことです。石川小学校は、各地の小学校統合から創立10年を迎えます。統合以前から続いてきた地域の多くの人々の願いや思いを大切にしている学校でありたいという酒井校長先生の厚い思いも、このピアノの音から伝わってくるようです。(文責 熊井)

(石川小学校だより SeKison 通信 NO.24 参照)

#### 編集後記

仲間が集い、同じ目標に向かって、楽しく元気に活動できるようになった喜びを日々感じています。これからも、人とのつながりが、生き生きと充実した生活になり、心の健康や豊かさにつながるものと信じております。(H・S)

「新石川町立歴史民俗資料館」を

歴史・文化の発信基地に

石川町立歴史民俗資料館は昭和49年に、県下にさきがけて高田の地に開館しました。

町の歴史ある文化財を保存し、時には町民へ本町の歴史を展示発信し、また各学校の生徒、児童の皆さんへ、わが町の文化財の素晴らしさを伝えるなどの教育を続け、繋げて来た資料館です。

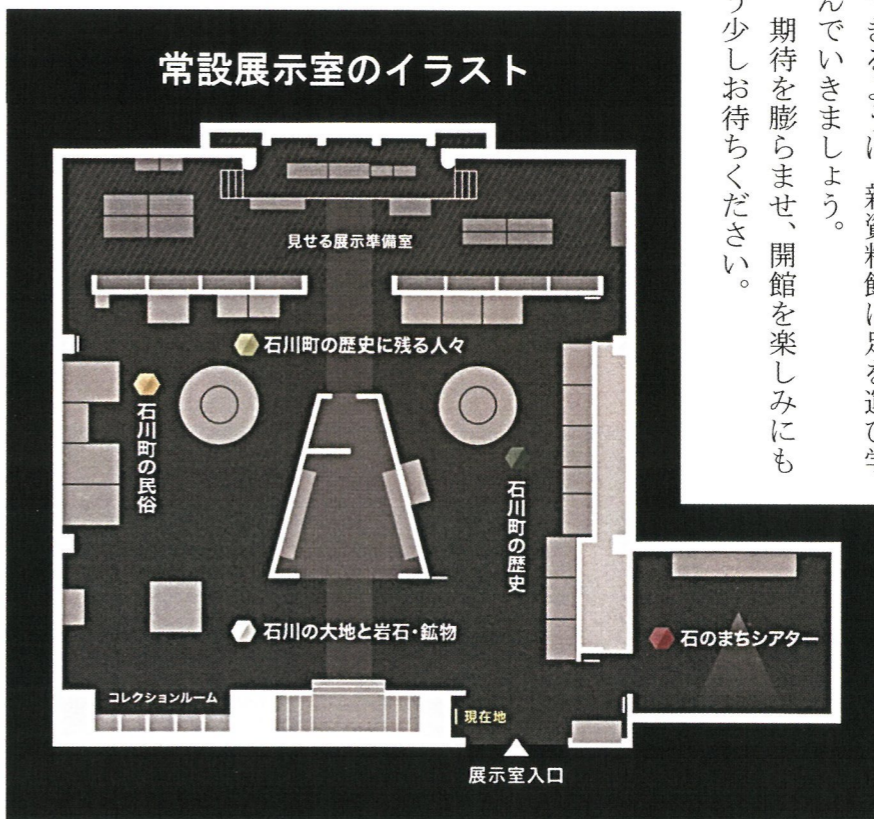
しかし建物は古くなり、三階までの急な狭い階段や傷みも目立ち、何より地震時の不安がありました。右記の理由から、移転改修工事が行われ、今春に、長久保地内に「新石川町立歴史民俗資料館」が開館されます。

常設展示室の方は工事が完了しました。石川町のすべてを学ぶことができる資料館になります。

今後も順次移転整備を続け、我が町の歴史や文化、鉱物などが詰まった驚くような資料館となり、歴史・文化の発信基地となつて行くことでしょう。交流スペース、ミュージア

4月27日 オープンイベント  
4月28日 通常一般開館

ムショップなども計画されています。一人ひとりが、わが町を誇り、自慢できるように、新資料館に足を運び学んでいきましょう。期待を膨らませ、開館を楽しみにもう少しお待ちください。



開館間近、内部の様子

常設展示室は5つのコーナーに分けて展示

- 石のまちシアター  
大地と人々が織りなす物語＝映像の上映、ペグマタイト鉱物の展示
- 石川町の歴史  
原始、古代の石川、中世の石川、近代以降の石川町の歴史
- 石川の大地と岩石・鉱物  
石川町の地質や鉱山の歴史、石にまつわる戦争と平和について展示
- 石川町の歴史に残る人々  
自由民権運動発祥の地・地学教育を推進した人物・ふたりの名石工の紹介
- 石川町の民族  
石川町的生活(衣・食・住) 産業(農業・養蚕・馬産・炭焼) 信仰(祈り・祭り・行事)

女声コーラス 福島県おかあさん合唱祭へ

石川女声コーラス 代表 三輪恵美子  
十月八日、第五十九回福島県おかあさん合唱祭が喜多方プラザ文化センターを会場に開催され参加してきました。会津地方は二団体しかないため、運営は大変だったと思いますが、心のこもった温かい大会でした。



～響け うたごえ～

今年の発表曲は「大空が迎える朝」と「若者たち」です。団員の減少や高齢化に伴い、三部合唱から二部合唱に変更しての合唱となりました。四月から練習に取り組んできましたが、家庭の事情や体調不良、また、当日も参加人数が減るなど、うまく発表ができるかと不安でした。バスの中でも練習しながら会場へと向かいました。

今年の参加団体は二十七団体、私たちは十二番目でした。荒井一成先生の講評を頂き、多くの課題に気づかされました。

福島県のおかあさん合唱連盟は結成してから来年六十周年を迎えます。石川女声コーラスはそれよりも前に、昭和二十九年に結成され、来年七十周年を迎える県内で最も古い合唱団です。平和の中で歌うことの素晴らしさ、楽しさを感じながら歌って来られた多くの方々の思いを受けて、これからも楽しく歌い続けていきたいと思えます。石川町の多くの方々に支えられて来たことに感謝しながら今後も精進して参ります。団員募集中です。一緒に歌うことを楽しませるか。

石陽吟詠会 全国大会へ

◇第50回 クラウン全国吟詠コンクール決勝大会  
日時：令和5年10月22日(日)  
場所：日本教育会館一橋ホール  
出場者：石井治利 大竹正子 中田 博

◇第59回全国名流吟詠大会 日本コロムビア全国吟詠コンクール決勝大会  
日時：令和5年11月4日(土)  
場所：メルパルクホール大阪  
出場者：鈴木 栄



～会員の皆さんの発表会～

一吟千回を目標に  
石陽吟詠会代表 中田 輝子  
今年最初の全国大会へ当会から二人、日本詩吟選手権に出場予定です。『一吟千回』を目標に、今年も皆さんの活躍に期待しております。

昨年、令和五年度の石陽吟詠会の活躍は、大変すばらしいものでありました。こんな小さな町の私たちの会から、全国大会に四人も出場することができたのは大変誇りに思います。上を目指すものにとって、全国大会は、夢の舞台です。日頃の教室での練習、各自の自主練習など努力の賜物であつたろうと思えます。

中でも、和歌の部の決勝で十人に選ばれた石井治利さん、今年の活躍に特に期待しています。